

新聞・写真部 「質の高い新聞を作る」

1年 馬場優志(松阪市立三雲中学校)

現在、新聞・写真部は1年生2人で活動しています。活動日は新聞を作り始めたら、ほぼ毎日といったところです。私は高校1年になるまで、普段から新聞をあまり読んでないにも関わらずこの部に入部しました。特に理由はありますが、強いて言えば津高校の唯一の広報機関だからというのがあります。今のところ部員が少なすぎて目標の発行日に完成ができないことがしばしばあるので、校閲だけでもいいので、入部してくれる人を募集しています。

第47回全国高等学校総合文化祭に参加しました。正直不安でしたが、他校の生徒たちに助けられて、新聞を作成することができました。その時に驚いたことがあります。その人たちは真夜中の12時過ぎまで、ずっとLINE上で記事とレイアウトの話をしていました。そんなことも知らずに寝てしまった私は、朝起きてLINEの通知の数が100件を超えていたことを未だに覚えています。この衝撃で、思わず津高新聞のクオリティを上げないといけないと真っ先に感じました。

この出来事を通して、新聞を読んでもらうには、何十にも検討を重ねるのだと感じずにはいられませんでした。そして、これからの新聞も見づらくはないか、見る人が飽きないか、などの思慮深くあり進んで工夫を施すべきだ、ということ学びました。

個人の所感のようなものになってしまいましたが、部としては、完成度の高くて見やすい新聞を目標としています。

最後にひとつ。新聞・写真部に入部しなくとも、津高新聞を読んでもらえたらと思います

▲作成中の写真があれば載せていたのですが…
無いので津高新聞(12月号)を代わりに

〈表彰〉

第42回三重県新聞コンクール 優良賞 2023/11/11

